

ふじぐみだより

— No.2 —

令和2年7月8日

中央区立久松幼稚園

ふじ組担任 小嶋 順子

暑気に入り、梅雨が続く中、夏の日差しが待ち遠しくなってきました。幼稚園の夏野菜の栽培物も生長が楽しみになってきて、サクラ広場に出るたびに、「えだまめ、わたしだいすき！」とか、以前は「ブドウができてー」と言っていた子どもたちが「トマトだー」「いっぱいできてー！」「ほらここ、あかくなってきたー」などと、楽しみに観るようになってきました。先日はナスにはとげがあることをみんなで見て知り、食べるだけでなく、いろいろなことを見て触って経験する楽しさも味わっています。

季節ならではの水遊びなども、ダイナミックにとまではいきませんが『濡れても大丈夫！』と、サンダルを履きながら足を濡らして『気持ちがいい！』など、子どもたちなりに楽しんでいます。

製作遊びでは七夕飾りづくりをし、人差し指で大きな面をのり付けしながら指先の感覚を楽しんでスィカを作ったり、星にいろいろな顔の絵や模様をかいて、星空のイメージを楽しんだりしました。

友達との遊びでも、様々なかかわりが見え始めました。ウェーブバランスでは、進む方向や順番があることなどを教師や友達の声掛けで知り、方向が分かると、電車みたいに繋がって面白そうに遊ぶことができるようになりました。ウレタン積み木では自分がどうしても使いたいものがあるって、黙って使うと友達に「だめ」と言われて悲しくなったりする姿もありましたが、教師と一緒に「かして？」と言ったら「いいよ」と言われ、安心して遊んでいました。教師や友達とかかわりながら遊ぶ楽しさを少しずつ感じている子どもたちです

【ウェーブバランス遊び】



「でこぼこしてきもちいい、おもしろいねー」



「よーし、はやくぬごう！」

自分で裸足になった子どもたちは、バランスをとりながら歩いたり、跳んだり跳ねたりして、落ちないように遊ぶのに、夢中になっていました。靴下も上履きの中にちゃんと入れて、自分で裸足になりました。

【ウレタン積み木遊び】



今日はバスや電車、バイクを作ってみました。みんなハンドルをもって運転してみたいのですが、順番待ちもあります。作ったものが壊れてしまい、なかなか思い通りにならないのも現実！それでも、繰り返し積み重ねて作る楽しさや、順番を待つと乗れることなども知り始めています。

♪バスに乗って♪の音楽がかかるときは、終点になったら交代です。

【6月の誕生会で】



集まるときは、年少児なりに間隔を空けて座っています。誕生月の友達がケーキのろうそくを吹くのを、みんなで応援しています。自分も吹きたい気持ちを我慢して、おめでとうの拍手をしました。誕生児は緊張しながらも名前や何歳になったかななどを言います。お楽しみは、『はらぺこあおむし』の大型絵本で、音楽も聞きました。短い時間の中でも、子どもたちは様々な経験をします。

【サクラ広場で水遊び】



思い思いのおもちゃを手に、水のくみ換えや栽培物への水遣り、冷たさや感触を楽しむなど、戸外の陽ざしの中で遊ぶ楽しさを味わいました。

「あ、ぼくにもやらせてー」
「ん、いいよー」

すぐに言葉が出ないと、戸惑ったりあわてた動きをしたりする子どもたちですが、教師と一緒に友達に聞いたり、自分の思いを声に出してみたりしながら、言葉にすると、思いが通じることも感じるようになってきました。

【みんなで ♪ばすにのって♪ をしました】



「ゴーゴー♪」というところがお気に入りの子どもたちです。

自分なりに、みんなですることに参加しながら、遊んだり楽しんだりしています。

リズム遊びは好きだけど、まだ恥ずかしくて一緒に動くことは難しい、といった様子もありますが、いろいろな曲を繰り返し楽しむ中で、気に入った曲や場面を自分なりに楽しむようになってきた姿があります。

【アオムシをのぞきこんでいます】



黒と白だった幼虫が一匹だけ緑色に変身し、葉っぱをたくさん食べたのか、なんだか大きくなっていました。「いちごを食べたのかなー」「チョコレートケーキかなー」と、子どもたちの思いがふくらみます。

蛹になって蓋に付いているのをちょっと触ると、何と動きます。「わー、うごいた!」「ちょうちょになるのかなー」

数日たった月曜日の朝、「あっ、ちょうちょになったー」「かわいいー、ごほんよんであげようかなー」「パタパタってしてるー」「このほんのえと、おなじだね」

想像や関心が広がる子どもたちです!



『キアゲハ』と『アオムシ』です

